



# 輝き人生

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介しします。

## 仲間と過ごした3年間は一生の宝物

みずの りくと  
水野 陸翔さん (阿野田町)



全国の高校球児が目指す夢の舞台「甲子園」。8月に開催された「第105回全国高等学校野球選手権記念大会」に三重県代表として出場した三重県立いなべ総合学園高等学校野球部は、沖縄尚学(沖縄県代表)と対戦しました。

今回はその試合で先発投手としてマウンドに立った本市出身の水野陸翔さんにお話を伺いました。

### 一野球を始めたきっかけは？

小学2年生のときに、父親と一緒に市内の少年野球チームに参加したことがきっかけです。最初は、内野手としてプレーしていましたが、5年生の頃から投手として投げ始めて、6年生のときに初めて公式戦で登板したことを覚えています。

### 一投手としての自分の強み、また、「二枚看板」と言われた高田投手とのエピソードを教えてください

自分の持ち味は、「コントロール」と「緩急の使い分け」で、それを生かして相手打者を抑えたときは、自分のペースで試合ができています。

高田投手は、お互い切磋琢磨するライバルでしたが、春から夏にかけて、その存在を越えて、信頼できる最高の仲間になっていきました。

### 一甲子園に出場した感想は？

幼いときから夢見てきた大舞台で、会場に入った瞬間、すべてのものがキラキラ輝いていました。その中でも、ベンチにいる選手を含めて皆が笑顔で前向きな声を出してくれて、一緒に戦っている雰囲気を作ってくれたおかげで、緊張することなく、全力を出して投げ切ることができました。ゲームセットの瞬間は、悔しい気持ちもありましたが、3年間一緒に戦ってきた仲間と野球ができるのはこれが最後なんだという感情の方が強かったです。

### 一家族や恩師への感謝の思い

ここまで野球を続ける中で、いつもサポートしてくれた家族には感謝しています。また、中学時代に指導していただいた村田先生には、基本動作やピッチングなど野球の基礎をすべて教えていただきました。そして、高校の尾崎監督からは、ピッチング

の幅や打者との駆け引きなど自分の持ち味を引き出す指導をいただけたことに感謝しています。今回の出場で、親孝行と恩返しが一つできたかなと思っています。

### 一今後の目標について

今後の進路については、大学に進学して、そこで体づくりをしっかり行い、将来は、プロ野球や社会人野球に挑戦したいです。

野球に打ち込んで仲間と過ごした高校生活3年間は、自分の一生の宝物です。野球は自分が輝ける場所だと思っているので、これからも野球と向き合い、一生懸命努力していきたいと思います。



水野さんから市長へ甲子園への出場が報告され、甲子園の土が送られました

## 未来に伝えたい亀山市の「今」の風景を募集

市では、令和7年1月11日に市制施行20周年を迎えるにあたり、平成から令和の現在までの亀山市の姿を本にまとめる「まちの記録編さん事業(令和7年3月出版予定)」を進めています。本書に掲載予定の「未来に伝えたい亀山市の『今』の風景」を募集しますので、ぜひご応募ください。

**募集内容** 皆さんが未来に伝えたい亀山市の「今」の風景について、季節や時間、場所や方角、また風景の中にある人や建物など具体的な内容と未来に伝えたい理由をご記入ください。

(例1)初夏の清々しい朝、亀山公園の時計台から見える鈴鹿山脈

(例2)勸進橋の上から西を向いて見た鈴鹿川と夕焼け

**応募方法** 次のいずれかの方法で応募してください。

①応募フォーム(右の二次元コードからアクセスして応募)

②応募用紙の投函(投函箱の設置場所:歴史博物館エントランスホール、市立図書館1階休憩コーナー)

③はがき(〒519-0151 若山町7-30 歴史博物館)

※応募者が撮影した写真の募集ではありません。

※応募点数に制限はありません。1つの応募につき1つの風景を有効とします。

**活用方法** 応募数が多かった風景を市が写真撮影し、本に掲載します。

※撮影した写真は市の他の事業でも活用します。

**結果発表** 令和6年1月頃、応募結果を市ホームページで発表します。

### 募集期間

10月1日(日)~11月30日(木)



←応募フォーム  
二次元コード

問合先 歴史博物館 ☎83-3000